令和３年度 岐阜県立土岐紅陵高等学校

学校運営協議会（第１回）議事要旨

１　会 議 名　　土岐紅陵高等学校運営協議会（第１回）

２　開催日時　　令和３年６月２８日～７月１６日

３　開催場所　　書面開催

４　参 加 者

会　　長	土　本　　泰	至学館大学
副 会 長	加　藤　美由紀	土岐紅陵高等学校ＰＴＡ副会長
委　　員	飯　田　明　子	土岐市立西部こども園長
	木　股　絵　美	下石小学校ＰＴＡ家庭教育学級委員長
	佐々木　啓　子	土岐商工会議所事務局長
	鷲　見　政　人	土岐市社会福祉協議会
	仙　石　守　一	土岐市立下石小学校長
	長　瀬　教　行	土岐市立西陵中学校長
	西　尾　咲　子	下石女性の会会長
	山　岡　　哲	土岐市まちづくり推進課長
学 校 側	下　平　義　広	校長
	安　藤　範　和	教頭
	加　藤　健　二	教務主任
	河　村　拓　士	生徒指導主事
	薄　田　直　樹	進路指導主事
	加　藤　智　子	活性化推進部

５　会議の概要（協議事項）

（１）　地域連携による活力ある高校づくりについて

（２）　令和３年度教育課程について

（３）　年間行事予定について

（４）　組織編成について

（５）　校則等の見直しについて

＜髪型の指導ついて＞

意見１：企業側から「（ツーブロックを）面接時には控えていただきたい。」という声があることを生徒に伝え生徒に考えさせることは必要である。この場合、学校側から考え方のヒント等の導きが必要になる。そのうえで、ツーブロックにするかどうかは個人の判断に任せてよいのではないか。

意見２：髪型については流行があり、規制はモグラ叩きになりがちである。要は、生徒が納得できるかどうかなので、企業の要望等の情報を知らせ、生徒会で討議し、自分た

ちで決定させるべきものだと考える。

意見３：商工会議所の意見を参考にしてはどうか。

意見４：見た目より中身が大事なので、度合いにもよるが、私は問題ないと考える。しかし、社会に出たとき、会社や学校の規則はあるので、自分でどうすべきかを判断できるよう教育すべきである。

意見５：校則については、常に時代にあった内容に変えていく必要があると思うが、生徒がファッション感覚のみで髪型を考えるのではなく、様々なことを考えていけるように育ってほしい。

意見６：清潔感があるツーブロックであれば許可してもよいが、明確な許可基準を設けることは難しい。現状は規制したほうがよいのではないか。

意見７：誰もが納得できる合理的な理由がない限り、規制するべきではない。

意見８：規制する必要はない。髪型そのものを選択するのは本人の自由である。

意見９：特に夏場は清涼感があるツーブロックはいいのではないか。

＜ソックス丈について＞

意見１：制服＝未成年の正装（儀式に着る）と考えれば指定の長さでよい。式典や試験時は「正装」でのぞむよう指導すべきだと思うが、通学や通常の授業、学校生活にまで正装を求める必要はないと考える。

意見２：通常は学校指定の丈に合わせたほうが統一感があると思う。

意見３：あまり素肌を出さない程度がよい。

意見４：時と場に応じて身なりを整える、考えることは学校として大切にすべきことである。

意見５：極端に長かったり短かったりしなければよい。

意見６：ソックスの長さは、時代によって子供たちの感覚は違うのだと思う。正装としては校章の入ったソックスと決められているので、普段は色さえ統一していればよい。

意見７：全く規制する必要ないと考える。ただし、スカートの丈が短いと足の露出が多くなってしまう。女子生徒の身体を冷やさないことは大切である。冬場など、特に保温健康上の影響を考えると、ハイソックス等、長いソックスの方が適しているように感じる。

（６）　三つの方針（スクールポリシー）について

意見１：本校の総合学科としての立ち位置を的確にとらえられたものである。社会人としての基本的なマナーや能力、何よりも自分を信じ、可能性に挑戦し続けるという生き方ができる人間の育成をめざすという内容に共感する。

意見２：教育目標をもとに「育てたい生徒像」「生徒をどう育てるか」「どんな生徒を待っているか」を明らかにして、取り組み、検証していくことはとても大切である。どのような評価規準をつくり、どのレベルで達成といえるかなど、具体があればよりよくなる。

意見３：分かりやすく三つのポリシーが掲げてあって、とてもよい。総合学科ということもあり、生徒がそれぞれの個性を伸ばす事ができる反面、苦手分野やコミュニケーションが上手く取れないといった面で苦手な子もいる。先生方が上手に子供たちの性格を理解し、教育されている。

意見４：教育目標の実現のための３つのポリシーはとてもすばらしい。

（７）その他

意見１：生徒の中には、目標もなく、生きがいを感じられないような生徒もいるだろうと思う。生徒に寄りそう指導を大切にしてほしい。

意見２：土岐市のまちづくり推進課は、市民協働によるまちづくりを推進している。昨年度は高齢介護課と土岐紅陵高校生とのコラボレーションによる「地域包括支援センター」の案内チラシを作成した。今年度も協働できるものがあれば協働していきたい。

意見３：クールビズに関して、ズボン・スカートは夏服に統一した方がよい。

６　会議のまとめ

・第１回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針等について承認が得られた。

・今回得られた意見を今後の学校運営に生かしていきたい。